

親鴨会年末メッセージ(来年の目標は?)

今年は暑さも続いたこともあり、季節のメリハリをあまり感じる事が出来ませんでした。四季の移ろいの中で詠まれてきた俳句の季語達も見返す必要が出て来るのかもしれませんが。そうはいつても、日々の生活の中で季節を感じるものの一つが日没時間の変化です。9月の秋分の日を境に日暮れ時が徐々に早まり、12月にはいると4時半には夕景の中にいる自分に気付かされます。

今月の上旬、高校の同級生二人と一緒に、湘南の町にある介護施設に同級生を訪ねました。我が家から乗り継ぎで一時間半の小旅行です。旧友は車椅子での移動ですが、話しっぷりも元気で一安心しました。

4人で、60年前の高校時代の昔話に盛り上がるのはいつもの事。旧友は作曲家・ピアニストで活躍してきた男なので、来年もライブハウスでコンサートをしたいという前向きな希望を持っていてくれるのも嬉しいものです。そんな話をしながら2時間もあっという間に過ぎて行きます。いつもながら、「又、来るから」「それじゃあ」という短い言葉を交わして別れます。施設を出ると陽も傾き始めており、一日の終わりと、冬の到来を実感します。

車椅子生活の旧友を励ましに行ったのですが、明確な来年の目標を持っている彼の明るさに逆に元気づけられました。好きなものを食べ、健康に歩き回っている私は何を来年の目標にするか自問しながら帰途につきました。